

インタビュー 家族に迎えて

センターから譲渡されたワンコ(ニャンコ)その後、どうしていますか？

先住犬が繋いでくれた あたらしい家族

京都市上京区 岩田様

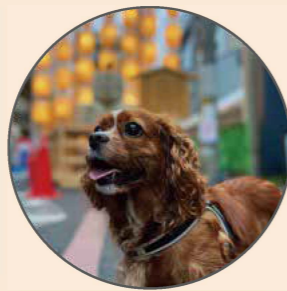
2022年5月にキャバリアのももちゃんを迎えた岩田さん御夫妻。

きっかけは奥様がセンターのインスタグラムで亡くなった愛犬と同じ犬種で同じ名前の犬を見つけたことからでした。

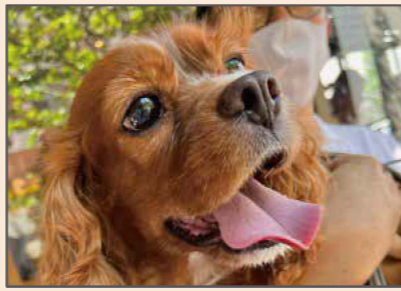
二年前に愛犬を看取られてから、新たに犬と暮らすことはないと考えられていた御夫妻でしたが、「保護犬ならば亡くなった愛犬も許してくれそう」



▲ニコニコ笑顔でお散歩



▲飼い主さんと一緒にいろいろな所に行きます



▲お父さんに抱っこされてとっても嬉しそう

「次に迎える犬はもっと幸せにしてあげることができる」という想いから迎えることを決めてくださいました。

初めて会った時の印象はとにかくフレンドリーで明るく可愛らしい子。そんなももちゃんだからお迎えすることに全く不安を感じなかったと仰る御夫妻でしたが、家に来た当初は不安から朝方吠えてしまったり、トイレを失敗することがありました。愛情をたくさ

んもらって安心している今では、吠えもなくなり、一日二回散歩をすることでトイレの失敗も少なくなりました。最近、奥様が外出されると寂しくて鳴いてしまうことがあるそうですが、そんな甘える姿も可愛く愛おしいと広い心で受け止めてくださる御夫妻に大きな愛情を感じました。

優しい御家族とこれからも楽しい毎日を過ごしてね。(小島)

犬猫の飼い主さん募集

～新しい飼い主さんになっていただけませんか？～

センターでは、引き取った犬猫のうち、適性があると判断した犬猫を希望者に譲渡する制度があります。

犬や猫の譲渡を希望される方は、是非センターまでお問合せください。

ただし、犬や猫の譲渡には、以下の条件がありますので、あらかじめ御了承ください。

譲渡できる方の主な条件(詳細は、センターへ御確認ください。)

- ・京都府にお住まいの成人で、譲渡希望者自身が飼い主となること。
- ・ペットの飼養が制限されていない住宅にお住まいであること。
- ・飼い主として責任を持ち、家族の同意を得て、家庭で犬や猫を適正に終生飼養できること。 など

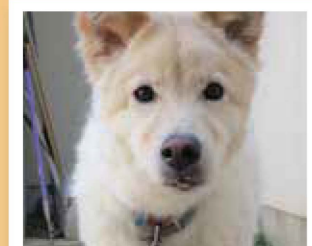
ぼくたちと暮らしませんか？

※既に譲渡先が決定している場合があります。

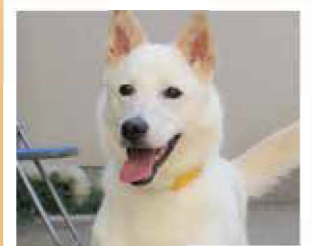


譲渡犬・譲渡猫の詳しい情報は
こちらから

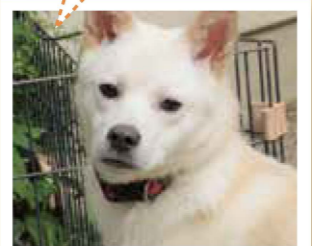
毎月
第2土曜日
13時～15時
犬の譲渡会
(保護犬見学会)
を開催しています



きなこ 2歳 オス 体重:20kg



コン 2歳 メス 体重:17kg



ニコ 1歳 オス 体重:13kg



フク 2歳 オス 体重:11kg

京都動物愛護センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩5分
 - 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩15分
 - 京都市営バス 十条大宮停留所から徒歩5分
- ※無料駐車場はありません。

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町11番地
TEL: 075-671-0336 FAX: 075-671-0338
開所時間: 午前9時～午後5時
休所日: 木曜日(祝日の場合は翌平日)
年未年始



京都動物愛護センターマスコットキャラクター
LINEスタンプ第2弾発売中
こちらから



本紙は「京都市動物愛護事業推進基金(人と動物が共生できるまちづくり基金)」からも出資しています。動物愛護推進基金に寄附していただいた方のうち、希望者はホームページに公開しており、ふるさと納税の適用も可能です。なお、寄附の方法についても、こちらのホームページで御覧いただけます。

→<https://kyoto-ani-love.com/>

この機関紙は行政とボランティアが協働で作成しています。

京都動物愛護センター
マスコットキャラクター
京(きょう)ちゃん



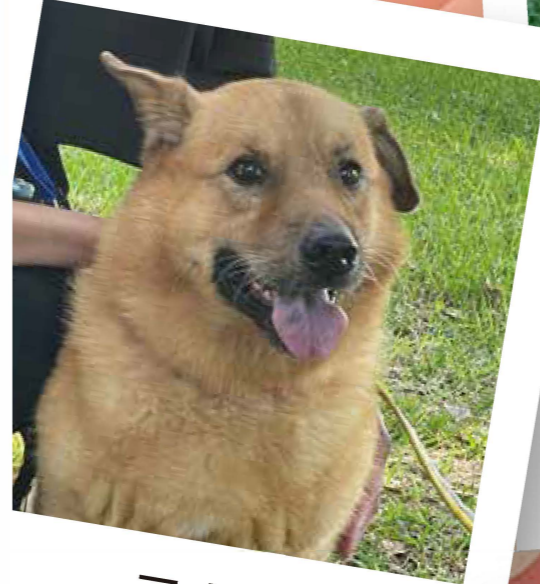
都(みやこ)ちゃん
令和4年度冬号

京都動物愛護センター機関紙

愛ランド通信

—人と動物の共生を目指して—

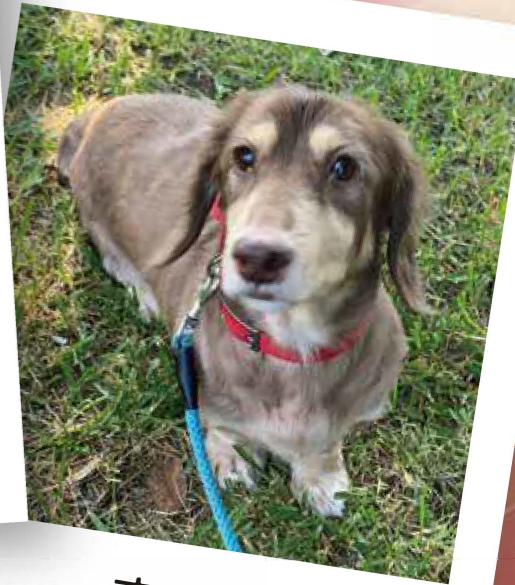
LINE
スタンプ
第2弾
発売中



ラウル



カンナ



まさお



パラソル



みかん



子猫たち

今回の特集は
「初めて犬・猫を飼うときの心構え」です。

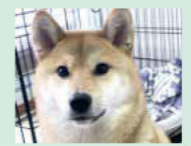
特集 初めて犬・猫を飼うときの心構え

“犬・猫を家族に迎え入れる”ことは、犬好きさん、猫好きさんにとって憧れであり、思い描くだけで胸が膨らみます。それは「楽しい、心豊かな生活」の始まりと同時に「終生飼養の責任」が伴うことを忘れてはいけません。今回は「初めて飼うとき」を視点に **※本当に飼えるかな？ ※どれくらいお金がかかるのかな？ ※迎え入れる時に準備することは？** に着目していきます。

💡 どれくらいお金がかかるのかな？

犬・猫を飼養しているボランティアに直近1年間の費用を聞きました ※1

Oさんのところのはなちゃん 2才
 ペットショップにて購入(3.5ヶ月齢時)：25万円
 迎え入れ時準備費用：6.4万円



品目	金額	内容
食費	13.2万円	ドッグフード、おやつ(ササミ)など
日用品	2.4万円	ペットシート、歯磨き用品、シャンプーなど
医療費 ※2	10.2万円	診察、狂犬病予防注射、フィラリア予防薬、保険料など
合計(年間)	25.8万円	1年目は避妊手術、膝の治療でプラス6万円かかりました!!

Kさんのところのトラちゃん 9才
 センターから譲り受けた(8才時)
 迎え入れ時準備費用：3.4万円



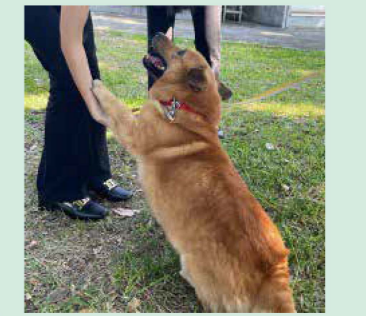
品目	金額	内容
食費	3.3万円	キャットフード、おやつ(猫用にぼし)など
日用品	3.6万円	ペットシート、トイレ砂、消臭剤、コロコロなど
医療費 ※2	3.1万円	ワクチン、爪切り、診察(2022年夏、熱中症)
合計(年間)	10万円	これが原因でエアコンを買いました!!

※1 参考例です。個体差、生活様式などにより差があります。 ※2 けがをしたり、病気になると予定外の費用が多くなります。

💡 迎え入れる時に準備することは？

- 必要なアイテム**
- 【犬・猫共通】
 - ・クレート・キャリーケース
 - ・餌、食器、おやつ
 - ・トイレ・シート
 - ・首輪、迷子札
 - ・おもちゃ、ブラシ
 - 【犬】
 - ・リード
 - 【猫】
 - ・トイレ砂・爪研ぎ
 - ・キャットタワー

- 物の他にも事前に調べておきたいこと**
- ・飼う犬・猫の基本的な特性や習性
 - ・通う病院をどこにするか、どこにあるか
 - ・脱走時の対策(室内飼いをオススメ)
 - ・災害時の対策



△ センター保護犬「ラウル」

焦らず、ゆっくり、積み重ね・・・共に幸せに

私もトイプードルを飼っています。実際に一緒に暮らしてみると、飼う前に思い描いていたこととのギャップを感じたこともあります。しかし、お家に来たばかりの犬や猫は、知らない環境での生活に不安やストレスを抱えている場合もあります。「ここが我が家！」と認識して安心するまでに数カ月かかると言われます。焦らず、ゆっくり、馴染んでくれるまでの様子を楽しんでいきましょう。理想とのギャップは多々ありますが、徐々に家族としての絆を深め、飼い主さんと動物とが共に幸せに暮らしていけることを願います。

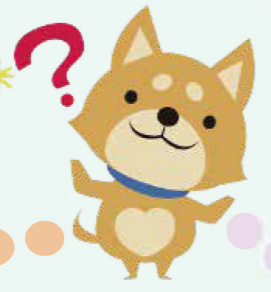
私自身、犬と暮らし始めた当初に抱いた『わくわく』を忘れることのないように、飼い犬の最期が来る時まで、一緒にいる時間を大切に暮らしていきたいと思っています。(K.H)

💡 本当に飼えるかな？

犬や猫を飼う前に考えないといけないこと

わくわくな気持ち

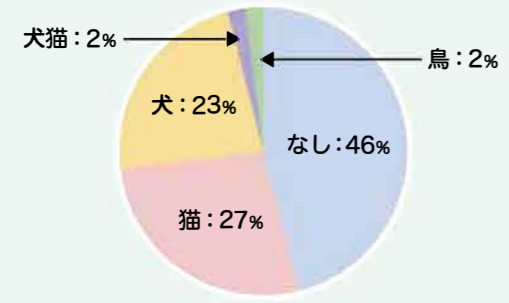
- ・かわいい
- ・大好き
- ・一緒に遊びたい
- ・まったりしたい
- ・癒されたい
- ・家族になりたい



同時にこちらも考えなきゃ

- ・本当に最期まで飼える？
→その動物が最期を迎えるまで世話や介護をする責任が生じます。
- ・今の住居はペット飼養可能？
→集合住宅はペット不可であったり、頭数等の制限があることもあります。
- ・長期間留守にする際に世話をする方法は？
→家族や知人に預けることができない場合は、旅行や出張に行きづらくなります。

●センターボランティアにアンケート「飼っている動物は？」



皆さん、動物が好きだけど半数は飼っていないんだね

- Q. 今飼っていない理由は？
- ・家族が動物アレルギーだから。
 - ・家族の反対があるから。
 - ・検討しているがまだ環境が整っていないから。
 - ・飼っていた動物が亡くなり、今は飼う気持ちになれないから。
 - ・ボランティア活動で動物と触れ合えるから。



大好きだからこそ、冷静に飼わない選択をする人もいるんだね

センターニュース

京都動物愛護フェスティバルが開催されました！～9月25日 @岡崎公園～

9月20日から26日は動物の愛護と適正飼養についての関心と理解を深める動物愛護週間でした。それに合わせ、コロナ禍で中止が続いていた京都動物愛護フェスティバルが3年ぶりに開催されました。当日はペット同伴での来場者も多数いらっしゃり、各団体による展示や物販、ステージ上での催しなど、お天気にも恵まれ、大盛況のうちに終了しました。



ボランティアブース
 ボランティア活動に興味を持たれている方も見学にいられました。

当センターのブースでは、保護犬・猫の現状や新しい飼い主を募集している犬・猫の紹介などを行いました。また、ボランティアブースでは、日々のボランティアの活動紹介や現在活動しているボランティアの声などを展示しました。活動をする上で何か経験が必要なのか、どのような年代、職業の方が活動しているのかなど、見学に来られた方々の質問にその場でお答えしました。

さらに、子どもから大人まで参加できるクイズラリーも実施し、たくさんの方に楽しんでいただきました。



わんちゃんもクイズラリーを盛り上げて来てくれました！

ステージ上では、ペットの災害対策や長寿犬認定式、杉本彰名誉センター長によるトークショーなどが行われ、ペットとの暮らしについて理解を深める場となりました。

来場者はお目当てのステージイベントやブース以外にも足を止め、ボランティアブースでは、ボランティア活動を知らない方々も興味深そうに話を聞かれている姿が印象的でした。(M.F)

飼っている犬・猫が失踪したら

京都市内は、京都動物愛護センター又は医療衛生センターに、京都市外の京都府内は、各保健所に速やかに失踪情報を御連絡ください。警察に保護されることもあるので、最寄りの交番や警察署にも届け出てください。隣接地域への連絡も重要です。

届出先

京都市域

京都動物愛護センター
又は
医療衛生センター

+

最寄りの交番
又は警察署

京都府域

管轄の保健所

+

最寄りの交番
又は警察署



迷子札をつけた犬・猫

お気に入りのおやつや首輪、リードを持ち、名前を呼びながら近所を探しましょう。発見連絡のときのために、携帯電話をお持ちの方は持って行ってください。最近では、SNSを用いた迷子情報も活用されています。予防策として保護時に飼い主が分かるように、犬には首輪に鑑札と狂犬病予防注射済票を、猫には迷子札などをつけましょう。マイクロチップ装着(飼い主登録も必須)も大切です。(Y.O)